
令和6年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和6年3月1日

質問者（質問順）

- 1 越久田 記子 委員（立憲党）
- 2 柏原 すぐる 委員（維新会）
- 3 大和田 あきお 委員（共産党）
- 4 長谷川 琢磨 委員（自民党）
- 5 藤代 哲夫 委員（自民党）
- 6 行田 朝仁 委員（公明党）

健康福祉局

局 別 審 査

1 越久田 記 子 委員（立憲党）

1 「よこはま健康アクション」の推進について

- (1) 食環境づくりに取り組む狙いについて伺いたい。
- (2) 食環境づくりの推進に向けて民間企業とどのように連携するのか伺いたい。
- (3) これまでの「歯・口腔」の取組の評価及びそれを踏まえた今後の取組の方向性について伺いたい。
- (4) 第3期健康横浜21が掲げる健康寿命の延伸に向けた取組により、期待される効果は何か伺いたい。
- (要望) 食環境づくりは、子どもだけでなく妊婦を含めた親世代に向けた食育にもしっかりと取り組んでいただきたい。
- (要望) 歯と口の健康対策についても、しっかりと取り組んでいただきたい。
- (要望) 市民一人一人がより良く、自らの人生を過ごすことができるよう、健康寿命の延伸に繋がる取り組みをしっかりと継続していただきたい。

2 地域づくり型介護予防事業について

- (1) 地域づくり型介護予防事業のこれまでの取組について伺いたい。
- (2) フレイルに対する市民の認識に関する現状と課題について伺いたい。
- (3) 地域づくり型介護予防事業の今後の展望について伺いたい。
- (要望) 行政、地域住民及び地域の中の様々な関係者が連携・協力し合いながら、ともに健康になれる地域づくりを進めていただきたい。

3 身寄りのない高齢者等への支援検討事業について

- (1) 本市における引き取り手のないご遺骨の過去3年の受け入れ数について伺いたい。
- (2) 身寄りのない高齢者等が抱える課題の認識について伺いたい。

(3) 身寄りのない高齢者等への支援における現状の取組と今後の考え方について伺いたい。

(要望) 国の動向等も踏まえ、市の施策に反映し、お一人であっても安心して生活することができる取組を進めていただきたい。

(要望) 身寄りのない高齢者等への支援を進めるにあたって、当該者が動物を飼育している場合には、動物の飼育状況の劣悪化を未然に防ぐために、担当する福祉関連部局と医療局の動物行政関連部局がしっかりと連携していただきたい。

4 障害のある方の就労支援について

(1) 「働きたい！私の職業体験・見学会」がどのような事業なのか伺いたい。

(2) 本事業の狙いについて伺いたい。

(3) 本事業を踏まえた、障害のある方の一般企業等での就労に向けた今後の展開について伺いたい。

(要望) 次年度に向けては、共同受注の取組の中で農作業受注促進モデル事業も新規に開始すると伺った。農福連携の様々な事例を積み重ねて課題の抽出を行い、今後の横浜における農福連携施策に生かしていただきたい。

5 地域ケアプラザの運営の充実に向けた取組について

(1) 地域ケアプラザの施設予約のシステム化に向けた調査・研究を行う狙いについて伺いたい。

(2) 地域ケアプラザの狭あい状況と対策について伺いたい。

(3) 職員同士が施設を超えてしっかりと情報共有することが必要と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 地域ケアプラザの職員が生き生きと活躍できるようなサポート、そして職場づくりに力を入れていただくことを要望する。

- 1 100大事業の自己分析に対する外部視点の点検を受けての対応について
 - (1) 健康福祉局で100大事業の自己分析をした事業数と主な事業、それらの予算における一般財源の額を伺いたい。
 - (2) 外部視点によって得られた助言等を受けて、どのように令和6年度の施策に反映されたのか伺いたい。

- 2 敬老特別乗車証交付事業について
 - (1) 制度開始時からの利用者数及び事業費の推移と今後の見通しを伺いたい。
 - (2) 全ての75歳以上の高齢者を対象に無償化することについて、税の適正配分及び公平性の観点ではどのように考えているのか伺いたい。
 - (3) 利用者負担が増える可能性の有無について伺いたい。

- 3 持続可能な介護保険制度に向けた取組について
 - (1) 介護保険事業費の推移と今後の見通しを伺いたい。
 - (2) 持続可能な介護保険制度に向けた取組を積極的に推進すべきと考えるが、見解を伺いたい。

- 4 高齢者保養研修施設ふれーゆについて
 - (1) 設置の背景及び現状の運営体制について伺いたい。
 - (2) 令和6年度事業費と今後の見通しを伺いたい。
 - (3) 指定管理者の収支状況及び利用者の属性について伺いたい。
 - (4) 現状の利用者負担をどのように評価しているか伺いたい。
 - (5) 持続可能性を検証するために、専門家に事業性の検証を依頼するなど、積極的に今後の施設の在り方を検討するべきと考えるが、見解を伺いたい。

5 受動喫煙対策について

- (1) 本市の喫煙者及び受動喫煙の状況を伺いたい。
 - (2) 屋外喫煙への対策について伺いたい。
 - (3) 鶴見駅西口喫煙所の受動喫煙問題についての見解と、具体的対策をどのように考えているのか伺いたい。
 - (4) 民間と協働して閉鎖型の喫煙所を設置していくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 全庁横断的に進めていただきたい。

1 災害時要援護者支援事業について

- (1) 能登半島地震で福祉避難所の多くが開設できなかったことについての見解を伺いたい。
 - (2) 福祉避難所の設置目的を伺いたい。
 - (3) 福祉避難所が必要な要援護者数、本市の福祉避難所の確保数及び受け入れ可能人数を伺いたい。
 - (4) 現状では、福祉避難所が不足しているので、確保にあたるべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (5) 市内557か所ある福祉避難所の日常訓練状況について伺いたい。
 - (6) 個別避難計画がどのくらい作成されているのか伺いたい。
 - (7) 個別避難計画の作成がなぜ進んでいないのか伺いたい。
 - (8) 福祉避難所について、設置数も足りていない、訓練も足りていない、個別の計画も進んでいない。抜本的に改善が必要だと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 障害者の方から、「移動が困難な障害者に対して、あらかじめ福祉避難所を決めておき、災害でその福祉避難所に問題がなければ、最初から福祉避難所に避難させてほしい。」という切実な要望が出されているため、今後、検討をお願いしたい。
- (意見) 福祉避難所で当事者も参加する訓練を進めるべき。

4 長谷川 琢 磨 委員（自民党）

1 災害時要援護者支援事業について

- (1) 令和4年度の個別避難計画のモデル事業の結果と課題について伺いたい。
 - (2) モデル事業から改善した点について伺いたい。
 - (3) 令和5年度の実施内容について伺いたい。
 - (4) 令和5年度の対象区とその選定理由について伺いたい。
 - (5) 避難支援者をどのように確保していくのか伺いたい。
 - (6) 地震を想定した個別避難計画の作成について伺いたい。
 - (7) 個別避難計画の今後の見通しについて伺いたい。
- (要望) 個別避難計画の作成は、地域のつながりづくり、担い手の確保、防災対策など様々な要素が混在している。健康福祉局だけでなく、市民局、総務局など全庁を上げて取り組んでいただきたい。

2 介護人材の確保について

- (1) 介護職経験者復職支援事業の実施内容について伺いたい。
 - (2) 介護の仕事の魅力発信に向けてどのように取り組むのか伺いたい。
- (要望) 介護人材の確保に向けた取組は急務の課題であり、これまで以上に推進していただきたい。

3 障害福祉事業所における共同受注について

- (1) 市内の就労継続支援A型及び就労継続支援B型の事業所が何か所あるのか伺いたい。
- (2) 「わーくる」ではどのような業務を行っているのか伺いたい。
- (3) 「わーくる」における実績及び受注件数を増加させるための取組について伺いたい。
- (4) 農作業受注促進モデル事業ではどのようなことを行うのか伺いたい。
- (5) 農作業受注促進モデル事業へ期待することについて伺いたい。

(要望) 障害福祉事業所における受注件数を増加させ、障害のある方の工賃向上を図るための取組を引き続き積極的に行っていただきたい。

4 依存症対策の推進について

(1) 令和6年度に実施する市民意識調査等ではどのような調査を行うのか伺いたい。

(2) ゲーム障害やインターネット依存、市販薬等の新たな課題に対して、どのような取組を行っているのか伺いたい。

(3) 依存症を抱える人を適切な相談機関につなげるため、どのような取組を行っているのか伺いたい。

(4) これまでの取組を踏まえた令和6年度における依存症対策の取組について伺いたい。

(要望) 現在の社会は、様々な要因から生きづらさを抱える方が増えている。依存症がその方の生きづらさを発見するきっかけにもなるため、様々な対策を進めていただきたい。

5 介護医療院の整備について

(1) 介護医療院の整備を新たに進める理由について伺いたい。

(2) 介護医療院の整備をどのように進めていくのか伺いたい。

(3) 介護医療院を必要としている高齢者やご家族への周知方法について伺いたい。

(要望) 介護医療院を必要とする方が困らないよう、しっかりと取組を進めていただきたい。

1 特別養護老人ホームについて

- (1) 本市がユニット型施設に限定して整備を進めてきた理由について伺いたい。
 - (2) 今後も本市の方針としてユニット型施設の整備を進めていくのか伺いたい。
 - (3) 第9期計画の整備目標数を700人分程度とした考え方について伺いたい。
 - (4) 特別養護老人ホームの利用率を向上させるよう取組を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 整備ありきではなく、ソフト、ハードのバランスをとって利用率を上げていく施策をお願いします。

2 高齢者の介護予防の推進と社会参加の促進について

- (1) データを活用したフレイル対策の推進の背景や狙いについて伺いたい。
 - (2) 本市の高齢者が抱える健康課題を踏まえた対象者の考え方について伺いたい。
 - (3) データから把握した対象者への個別支援の進め方について伺いたい。
 - (4) フレイル対策では、民間事業者等の力を活用すべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (5) 支援が終了した対象者への対応について伺いたい。
 - (6) 高齢者社会参加ポイント事業を実施する狙いについて伺いたい。
 - (7) 高齢者社会参加ポイント事業を通じたデータ活用について伺いたい。
 - (8) 今後の介護予防・社会参加を推進していく上での決意について伺いたい。
- (要望) 限られた地域資源の中でしっかりとフレイル予防につなげていく取組も大切な考えである。連携した取組を進めていただきたい。

3 多機能型拠点の整備について

- (1) 多機能型拠点の現在の整備状況について伺いたい。
- (2) 多機能型拠点が果たす役割について伺いたい。
- (3) 新たに多機能型拠点を整備することによる野毛山地区でのインクルーシブの進め方について伺いたい。

- (4) 残る6館目の整備も早急に進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
(要望) 支援を必要とする方々の思いをしっかりと受け止め、6館目の整備も早急に進めていただきたい。

4 今後の健康福祉行政のあり方について

- (1) 健康推進部を設置する狙いを伺いたい。
(2) 今後も増大する福祉保健ニーズに対応していくため、職員の事務作業を見直すことが必要と考えるが、見解を伺いたい。
(3) 福祉保健センターにおける専門職の人材育成の考え方について伺いたい。
(4) 福祉保健センターについての今後の考え方を伺いたい。
(要望) 福祉保健センターの機能強化、あり方について伺ったが人材育成が最優先であるとする。ハード、ソフト両面で取り組むことを要望する。

1 パーキングパーミット制度の導入について

- (1) 導入による効果について伺いたい。
- (2) 周辺自治体におけるパーキングパーミット制度の導入状況について伺いたい。
- (3) 制度の効果を高めるための取組について伺いたい。
- (要望) パーキングパーミット制度を早期に導入し、共生社会の実現に向けて、強力な取組を進めていただきたい。

2 補装具費支給制度について

- (1) 補装具費支給における国及び本市の支援拡充の内容について伺いたい。
- (2) 本市独自の助成制度において、公費負担を7割にした理由について伺いたい。
- (3) 次年度予算の拡充分で、何人を対象者として見込んでいるか伺いたい。
- (4) 障害者の補装具について所得制限を撤廃するよう、市としても国に対して要望を続けていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 県の補助格差是正について

- (1) 医療費助成制度（小児医療費助成制度、重度障害者医療費制度、ひとり親家庭等医療費助成制度）の政令市と他の市町村との補助率にどのような格差があったのか伺いたい。
- (2) 県補助率に格差が生じた経緯を伺いたい。
- (3) 今回の補助率格差撤廃により、3つの医療費助成事業で、それぞれどれくらいの増収を見込んでいるのか伺いたい。
- (4) 補助率格差是正による増収分の充当先について伺いたい。
- (5) 補助対象の拡充についても県に要望していくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 本市の医療費助成制度が、より良いものになるよう進めていただきたい。

4 自殺対策の拡充について

- (1) ポータルサイトの構築によりどのようにゲートキーパーの養成を進めていくのか伺いたい。
 - (2) 福祉保健の専門職等に対し、より専門的なゲートキーパー研修を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (3) ポータルサイトの活用により、ゲートキーパーの活動を支えていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 引き続き、効果的な対策を進めていただきたい。

5 認知症の理解促進について

- (1) 認知症について多くの市民に関心を持って理解を深めてもらえるよう、市としてしっかりと取組を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (2) レカネマブを用いた治療を積極的に進めるため、必要な患者をつなげられるよう、地域の医療機関に向けて理解促進を図るべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 「認知症を” 治す” まち、ヨコハマ」を目指し、しっかりと取り組んでいただきたい。

6 特別養護老人ホームの待機者対策について

- (1) 「医療対応促進助成事業」の拡充内容について伺いたい。
- (2) 今後、特別養護老人ホームにおける医療対応を更に拡充すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 介護医療院の整備は、特別養護老人ホームの待機者対策につながるよう進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 認知症行動・心理症状のある方に対する新たな支援内容及びその狙いについて伺いたい。
- (5) 待機者対策を進めていく決意について伺いたい。

7 介護人材確保対策について

- (1) 介護事業者向けハラスメント対策事業の取組内容について伺いたい。
- (2) 介護事業者向けハラスメント対策事業へ取り組む意気込みについて伺いたい。
- (3) 市内の介護現場で働く外国人の人数について伺いたい。
- (4) 外国人介護人材確保の目標人数を設定したうえで必要な施策を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 調査にあたっては外国人介護人材に直接生の声を聞く取組も行うべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (意見) 必要となる外国人介護職員の人数をしっかりと見定め、必要な施策や事業量を検討すべき。
- (要望) 高い志を持って横浜に来られた外国人介護人材の方々が、横浜で働き続けていただけるよう、目標設定をしたうえで、その目標に向かって取り組んでいただきたい。

8 地域ケアプラザが抱える課題への対応について

- (1) 地域ケアプラザにおける職員の充足状況について伺いたい。
- (2) 制度改正を踏まえ、居宅介護支援事業所が地域包括支援センターに代わって介護予防ケアプランを積極的に作成するよう取組を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 将来に向けて安定的な運営ができるよう、処遇改善につながる取組の検討が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 利用する市民のためにも、その機能が最大限発揮できるよう、現場の声を聞きながら、寄り添った対応をお願いしたい。

9 AIケアプランについて

- ケアマネジャーの業務の効率化と負担軽減に向け、AIケアプランの導入が進むよう支援すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) しっかりとスピードを上げて取り組んでいただきたい。

10 身寄りのない高齢者等の支援について

- (1) 身寄りのない高齢者等の支援における現状と課題について伺いたい。
 - (2) 令和6年度予算で、身寄りのない高齢者等の支援にどう取り組んでいくのか伺いたい。
 - (3) 身寄りのない高齢者等の支援に取り組む決意を伺いたい。
- (要望) 横浜に、誰もが安心して住み続けられる、理想の支援体制の構築を目指していただきたい。